

2022年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜「総合型選抜入学試験1期」

## 入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2021年10月23日(土)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

---

教育学部 子ども学科

対象コース： \_\_\_\_\_

※音楽領域、舞台芸術領域、子ども学科で1種類の問題冊子となります。

### [課題]

幼稚園・保育園から小学校入学直後に新たな環境に適応できず、授業中の立ち歩きや教師の話聞けないという児童の問題行動が数多く報告されています。地域の少子化や家庭での育児経験の乏しさが背景にあると言われていています。これらの課題に対し、教育・保育に関わる立場から何が必要か述べなさい。また、家庭や幼稚園・保育園等と小学校との間でどのような連携が必要となるか述べなさい。

### [出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

現代の教育・保育の抱える課題への関心度と基礎的な知識・情報の理解度を確認し、教育学部のアドミッション・ポリシーに沿った人材の確保に資する。特に地域・家庭との連携や幼稚園・保育園段階でのコミュニケーションという視点から子どもと関わる考察を期待したい。また、チームとしての学校の対応により、入学後の小学校教育へのスムーズな移行や幼稚園・保育園と小学校の接続ギャップを解消するために教員の果たすべき役割をどの程度理解しているか確認する。論理的思考力と文章表現力についても併せて確認したい。

2022 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜「総合型選抜入学試験 2 期」

## 入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2021 年 12 月 19 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

教育学部 子ども学科領域

対象コース： \_\_\_\_\_

※音楽領域、舞台芸術領域、子ども学科で 1 種類の問題冊子となります。

### [課題]

以下の 1、2 のどちらかを選択しなさい。

1. コロナ禍の影響で、あらゆる生活様式が変わり、先の見えない不安の中で教育・保育は思考と判断の連続を強いられている。子どもの育ちや学びを保証するためにどんな音楽教育が必要だと考えますか。あなたの考えを述べなさい。

2. 自己肯定感とは、「自分には価値がある」「自分には長所がある」「自分は必要とされている(愛されている)」という感覚を持つことである。子どもを認めてあげたり、褒めてあげたりすることで、自己肯定感を育てていくことができる。保育者、教育者として子どもの自己肯定感を育むためにどのような関わり、言葉がけが心がけていったらよいか、あなたの経験等をふまえて考えを具体的に述べなさい。

### [出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

1. コロナ禍の中、保育者・教育者としての音楽教育の工夫について、自分の考えが述べられているか評価する。」

「あらゆる生活様式が変わり、先の見えない不安の中にある教育・保育の現状の把握」ができているかを評価する。

2. 子どもの自己肯定感について、どのように理解し、とらえているかを評価する。また、保育者や教育者、子どもの支援者が子どもの自己肯定感を育むためにどのような関わり、言葉がけを行うことが必要か、具体的に述べられているかをみる。

自己肯定感のテーマについて、①基礎知識があること(関連するキーワードを押さえていること)、それを、②自分の経験等と照らしあわせ、③子どもとの関わりを想定して自分ならどう関わるか、考察が述べられているかをみる。構成も大きくはこの 3 つのまとまりがあることが求められる。

2022年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜「総合型選抜入学試験3期」

## 入試問題

試験科目：「小論文」

日程：2022年2月5日(土)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

教育学部 子ども学科

対象コース： \_\_\_\_\_

※音楽領域、舞台芸術領域、子ども学科で1種類の問題冊子となります。

### [課題]

労働者人口の減少およびAI(人工知能)の進展により仕事のあり方が大きく変わろうとしている。教育・保育の分野においても例外ではなく、現場への急速なICT(情報通信技術)機器の普及は働き方を変えるとともに、子どもへも大きな影響を与える。これからの社会において教育者もしくは保育者の働き方や役割はどうあるべきか、そのために教育者または保育者を目指すあなたは何を学ぶべきなのか、現状を踏まえつつあなたの考えを述べなさい。

### [出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

課題を設定した意図は、時事として新聞やニュースなどさまざま機会に取り上げられる問題であり、教育者・保育者を目指す者として、現在の教育・保育職についての認識・理解と、これからの教育者・保育者の未来像についての展望・意欲を表現してもらうことにある。

以下の四つの観点に着目し、回答者の立ち位置(教育者 or 保育者)を明確にしたうえで、自分の考えを文章として作成する力を推し量る。

- ① 教育・保育職についての現状や課題を認識できているか
- ② 情報化による社会の変容を認識できているか
- ③ 教育・保育と社会の変容を結び付けられているか
- ④ 教育者・保育者を目指して学ぶ意欲・熱意があるか

2022年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜「総合型選抜入学試験4期」

## 入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2022年3月23日(水)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

---

教育学部 子ども学科

対象コース： \_\_\_\_\_

※音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域、子ども学科で1種類の問題冊子となります。

### [課題]

絵本は楽しみながら、知識や教養を身に付けたり、想像力を育み、子どもの自己形成を助ける役割があるといわれています。教育・保育の現場で、どのように絵本の活用ができるか、様々な状況を考え、活用方法やその狙いを述べなさい。

### [出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

課題を設定した意図としては、本学で取得することができる認定絵本土の資格の魅力に目を向けてもらうことや、実際の教育・保育現場における絵本の活用について考える中で、教育者・保育者としての適性や意欲を表現してもらうことにある。

以下の四つの観点に着目し、回答者の立ち位置（教育者または保育者）を明確にしたうえで、自分の考えを文章として作成する力を押し量る。

- ① 教育・保育職についての現状や課題を認識できているか。
- ② 絵本の特性や子どもにとっての役割を認識できているか。
- ③ 教育・保育現場での絵本の活用をイメージできているか。
- ④ 教育者・保育者を目指して学ぶ意欲・熱意があるか。